



## <定点把握感染症>

疾患名	全国	山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県) 第1~50週
	第49週	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減	
<b>インフルエンザ定点</b> (定点医療機関数)		(44)			(9)			(10)			(4)			(9)			(12)			
インフルエンザ	1238 0.25	2 0.05	4 0.09	▲	1 0.11		▽	1 0.10	3 0.30	▲							1 0.08		△	14
<b>小児科定点</b> (定点医療機関数)		(29)			(6)			(7)			(3)			(6)			(7)			
RSウイルス感染症	1707 0.54	50 1.72	48 1.66	▼	5 0.83	1 0.17	▼	27 3.86	26 3.71	▼		3 1.00	△	17 2.83	16 2.67	▼	1 0.14	2 0.29	△	1501
咽頭結膜熱	421 0.13	4 0.14	2 0.07	▽				1 0.14		▽				3 0.50	2 0.33	▽				398
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1157 0.37	7 0.24	7 0.24		1 0.17		▽	4 0.57	3 0.43	▽				2 0.33	4 0.67	▲				490
感染性胃腸炎	13757 4.38	125 4.31	206 7.10	▲	58 9.67	45 7.50	▽	19 2.71	17 2.43	▼	1 0.33	1 0.33		27 4.50	31 5.17	△	20 2.86	112 16.00	▲	6621
水痘	351 0.11	2 0.07	6 0.21	△	1 0.17		▼		1 0.14	△				1 0.17	5 0.83	△				131
手足口病	1274 0.41	1 0.03	1 0.03			1 0.17	△	1 0.14		▽										2650
伝染性紅斑	27 0.01																			7
突発性発しん	735 0.23	9 0.31	9 0.31		2 0.33	1 0.17	▽	1 0.14		▼	1 0.33		▽	2 0.33	5 0.83	△	3 0.43	3 0.43		530
ヘルパンギーナ	529 0.17																			1324
流行性耳下腺炎	113 0.04																			30
<b>眼科定点</b> (定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	6 0.01																			0
流行性角結膜炎	160 0.23		1 0.13	△										1 1.00		△				79
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)																				2
クラミジア肺炎	1 0.00																			0
マイコプラズマ肺炎	9 0.02																			5
細菌性髄膜炎	7 0.01	1 0.10	1 0.10					1 0.50	1 0.50											5
無菌性髄膜炎	8 0.02																			0

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

## <全数把握感染症>

疾患名	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核		3				※第49週(1)、第44週(2)追加報告分
レジオネラ症				1		※第48週追加報告分

## <通信欄>

### ※インフルエンザ情報

医療機関におけるインフルエンザの迅速診断キットによる型別はA型4件、B型0件です。  
県衛生研究所の検査において、AH3が1件検出されています。

### ※新型コロナウイルス感染症情報について

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムの運用開始に伴い、新型コロナウイルス感染症は週報の対象外となっています。

山形県の新型コロナウイルス感染症に関する情報は、右記の「新型コロナウイルス感染症に関するポータルサイト」をご覧ください。(QRコードを読みとるかPDFファイル上でクリックしてアクセスしてください。)



### ※警報・注意報の基準値

疾患名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。  
※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数  
※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ				1					1				1	1	4
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	5	7	13	6	10	4	1	2							48
咽頭結膜熱			1	1											2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				1			1	2	2			1			7
感染性胃腸炎	3	9	40	35	25	34	20	17	8		4	7	2	2	206
水痘	1			1				1		1		2			6
手足口病			1												1
伝染性紅斑											1				0
突発性発しん		2	6												9
ヘルパンギーナ															0
流行性耳下腺炎															0

< 令和4年11月 月報 >

2022年12月21日 発行

疾患名	山形県		山形市保健所		村山保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		累積(県)
	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月	
<b>STD定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	5	14	4	6		1		4	1	1	2	144
	定点当り	0.50	1.40	1.33	2.00		1.00		4.00	0.50	0.33	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	2	7	1	3				2		1	2	57
	定点当り	0.20	0.70	0.33	1.00				2.00		0.33	0.67	
尖圭コンジローマ	報告数	2	7	1			1		1	2	1	3	26
	定点当り	0.20	0.70	0.33			1.00		1.00	1.00	0.33	1.00	
淋菌感染症	報告数	3	6	1			1		1	2	1	3	35
	定点当り	0.30	0.60	0.33			1.00		0.50	1.00	0.33	1.00	
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	5	7	1	1				2	2	2	4	40
	定点当り	0.50	0.70	0.50	0.50				1.00	1.00	0.67	1.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	11	9	4	3	1	2	1	1	1	4	3	125
	定点当り	1.10	0.90	2.00	1.50	0.50	1.00	1.00	1.00	0.50	1.33	1.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数												0
	定点当り												

<トピックス>

**年末年始も感染対策を！**

年末年始は、忘年会や新年会、帰省などで普段会わない人同士の接触機会が増え、新型コロナの感染拡大が懸念されます。年末年始を安心して過ごすために、次のことについて備えておきましょう。

**1) オミクロン株対応ワクチンの早期接種**

オミクロン株対応ワクチンの接種は、従来型ワクチンを上回る重症化予防効果と、持続期間が短い可能性はあるものの、感染・発症予防効果が期待されます。

オミクロン株対応ワクチンの接種対象は、**2回以上の新型コロナワクチン接種が済んでいる12歳以上の方**で、一人1回接種できます。

年末年始を安心して過ごすため、**前回接種から3カ月以上経過した皆様は、速やかなワクチン接種をお願いいたします。**



**2) 十分な換気の実施など**

感染力の強いオミクロン株への対策として、換気が重要です。室内温度に留意しながら、定期的に窓開けを行いましょう。

また、場面に応じたマスクの着脱などの感染対策を徹底しましょう。



※一方の窓を少しだけ開けて常時換気する方が、室温変化を抑えられます。

**3) 発熱などの体調不良時のための準備**

年末年始は、医療機関の診療体制が通常とは異なり、すぐに受診することができない可能性があります。事前に次の準備をしておきましょう。

**購入しておきましょう**



**・新型コロナ抗原定性検査キット**

「研究用」ではなく、国が承認した「医療用」もしくは「一般用」のキットを使用してください。

**・解熱鎮痛薬**

**相談窓口を確認しておきましょう**



**・発熱や咳の症状がある方**

⇒かかりつけ医がいる方は**かかりつけ医**に相談してください。いない方は、**受診相談コールセンター0120-88-0006** (24時間受付)へ相談してください。

※参考:第21回(令和4年12月9日)新型コロナウイルス感染症対策分科会 資料4